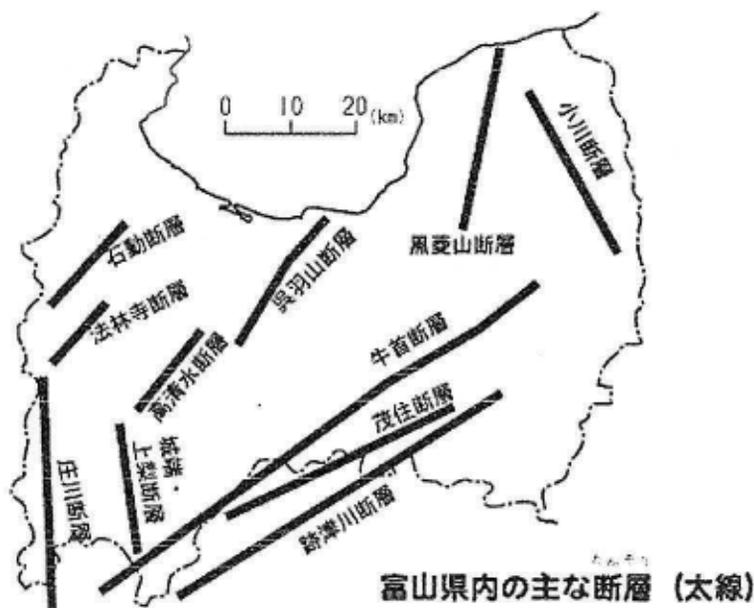


## 地震のはなし

2004年10月23日、新潟県の中越地方<sup>ちゅうえつちほう</sup>で地震が発生しました。富山市でも震度3のゆれがあり、ほとんどの人が地震に気づいたと思います。新潟県ではこの地震によって、山がくずれたり、家がこわれたりなどの被害<sup>ひがい</sup>をうけて、自分の家に帰れない人たちがたくさんいらっしゃいます。

地震は断層<sup>だんそう</sup>と呼ばれる地面の割れ目を境にして地面がずれたり、岩石がこわれたりすることによって起こります。地面がずれたり、岩石がこわれたりした時の振動<sup>しんどう</sup>が地震となるのです。今回の地震は長さ30km以上もある地面の割れ目（断層）に沿って、その周りにある地面がずれたり、岩石がこわれたりして起こったことが分かってきました。



このような大きな地震は、日本全国、どこでも起きる可能性があります。富山県に住んでいると地震のゆれを感じることは少ないのですが、大きな地震を発生させる可能性のある断層が県内にも数多くあります（図をみてください）。私たちの身近でも、いつ大きな地震が起きてもふしぎではありません。

地震が起きるとビックリしてしまうと思いますが、あわてないことが大切です。火を消す、身を伏せてゆれがおさまるのを待つ、ガケやへいには近づかないなど、普段から避難訓練などを通して確認しておくことが大切です。

(たなかゆたか)



兵庫県南部地震で倒れたビル（平成7年）



富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野町1-8-31 (TEL. 076-491-2123)

<http://www.tsm.toyama.toyama.jp>

平成16年11月1日